

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらり玉島		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		令和7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年12月10日		令和7年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題を踏まえて、個別支援計画書を立案して、チームでアプローチしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で日頃からの利用児の様子を共有する機会を設けている。(朝礼・終礼時間の活用)</li> <li>アセスメント、個別支援計画書の振り返りを定期的実施して、利用児の得意、苦手を全体で把握している。</li> <li>利用児・保護者さんの要望・希望を取り入れた上で、本人の自立を目指した個別支援計画書の立案をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から職員間での支援の振り返りを行う。</li> <li>職員間で支援のずれが出ないように、統一した支援を実施する。</li> <li>職員の質の向上の為に、それぞれが学びたい研修に参加をする。</li> </ul>
2	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けているところ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年に2回(前期・後期)ペアレント・トレーニングを実施していること。</li> <li>保護者茶話会、就学に向けた勉強会、サポートブック作成会等それぞれの時期に応じた勉強会を取り入れている。</li> <li>お仕事の都合で参加しにくい方も多いため、土曜日の夕方に実施をしている。</li> <li>保護者だけでなく、きょうだい児さん向けにボランティアの案内を行い、事業所について知ってもらえる機会を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が参加しやすい曜日、時間を確認する。</li> <li>アンケートにて、保護者が学んでみたいこと、知りたいこと、どんな内容であれば参加したいか等を把握する。</li> <li>父親の参加率は低い為、父親が参加できる企画を検討する。</li> </ul>
3	定期的に、保護者に面談や子育てに関する助言等の支援を行っているところ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引継ぎ時間を毎回設定しており、そこで事業所での支援の様子、家庭での様子を聞き取りしている。</li> <li>支援の様子をケアコラボ(電子ツールの連絡帳)に記載をして、そこに対して保護者からもコメントをもらい、支援について共有を図る。</li> <li>電話、送迎、ケアコラボ、受け入れ時などの様々な手段を活用して、どの保護者でも相談しやすいツールを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家庭での困りごと、相談にタイムリーに対応できるよう心がける。</li> <li>保護者の方が相談しやすい、相談したいと思える環境を作る。</li> <li>日頃から、職員が利用児の様子を丁寧に保護者にお伝えをしていく。日頃からの信頼関係を作る。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設的环境整備について(建物の老朽化、部屋の手狭さ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2階での活動は、階段を登る為、保護者の方から見ると危険に感じているかもしれない。</li> <li>身体をしっかりと動かす場(ホールや外遊びの場)がない。</li> <li>部屋を区切りながら、それぞれの空間を分けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段の昇り降りの際には、職員が上、下と見守りながら安全に利用児さんが昇り降りできるよう配慮する。</li> <li>暖かい時期には、散歩等を取り入れていき、発散できる機会を設定する。</li> <li>部屋の間を見直ししながら、利用児さんが過ごしやすい環境設定を心がける。</li> </ul>
2	非常時などの対応について、保護者の方へは十分に伝わっていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の通信で災害訓練のお知らせ、契約時に災害時のマニュアル、事故発生時のフローチャート等については説明をしているが、十分に伝わりにくい部分があった。</li> <li>訓練も毎月実施しているが、実施した後の共有がない為、実施状況が伝わっていない部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信で訓練のお知らせだけでなく、訓練の実施状況等もお伝えをしていく。</li> <li>契約時にも、災害時のマニュアル等について、詳しくお伝えをしていく。</li> </ul>
3	地域の中で活動する機会や、きょうだい児向けのイベント等がほとんどないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅で過ごされている利用児さんは、法人内の保育園との交流はあるが、ほとんどの利用児さんが所属園がある為、地域の園と交流する機会が持てない。</li> <li>保護者向けの勉強会などは実施しているが、きょうだい児向けのイベントの企画はできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者さんからのニーズを調査していく。</li> <li>引き続き、在宅で過ごされている利用児さんは、地域の園と交流する機会を設ける。</li> <li>その中で、ほかの利用児さんも交流できる機会があるか企画・検討していく。</li> </ul>